

表紙の人

山崎 亮氏

(コミュニティデザイナー)



【プロフィール】

studio-L 代表
関西学院大学建築学部教授
コミュニティデザイナー
社会福祉士。

1973 年愛知県生まれ
大阪府立大学大学院および
東京大学大学院修了 博士
(工学)
建築ランドスケープ設計事務所を経て、2005 年に studio-L
を設立。
地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。
まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。



studio-L

<https://studio-l.org/>

「表紙の人」は、「第 19 回奈良県景観デザイン賞」の審査委員をしていただきます山崎 亮さんです。建築ランドスケープ設計事務所を経て、2005 年に studio-L を設立、現在は、コミュニティデザイナーとして、多方面で活躍されています。今回は、『奈良県の持つ可能性』や『奈良県における建築士の役割と職域』について、お聞きしました。

■『奈良県の持つ可能性』について、お聞かせください

やはり「歴史がある」ということでしょうか。全国各地を訪ね歩くと、いろんなまちがあります。しかし、その多くが奈良ほどの歴史を持っていません。なかには昭和の時代に拓けたというまちもあります。そういうまちの場合、これまでに組み込まれてきたことがそれほど多くありません。一方、奈良は組み込まれてきたことの厚みがすごい。単に古いものが残っているということではなく、そのまちに生きて試行錯誤した人たちの活動がとてつもなく多いということが可能性なのだと思います。過去を遡れば、かなり多様な活動を発見することができる。しかも、それが土地に結びついた具体的な活動である。これらを参考にしながら、これからの活動を考えることができるというのは可能性の源泉だろうと思います。

■『奈良県における建築士の役割と職域』について、お聞かせください

地域における多様な活動の蓄積がある奈良だからこそ、参照すべきプロジェクトが大量に存在するわけです。そんな活動は、どんな空間で執り行われてきたのか。そう考えると、活動とセットで参照すべき空間も多様に取り揃っていることに気づきます。

だからこそ、奈良で活動する建築士は、単に空間の形だけを追い求めるのではなく、活動と空間をセットで考えることができるはずです。

ましてや、東京で流行っている空間とか、ニューヨークで主流な空間などを真似する必要などないわけです。プロジェクト全体を俯瞰し、どんな活動が必要で、そのために空間はどの程度の質を担保すべきなのか。そんなバランス感覚を持った建築士の登場に期待したいと思います。

そのために参照すべき事例は山程あるのが奈良なのですから。

■ありがとうございました。

【記：教育・事業委員会 委員長 城田全嗣】

「第 19 回奈良県景観デザイン賞」審査員紹介映像は、
右のQRコードからご覧下さい。



近畿あ一きてくと Vol. 29～地域で活躍する建築士の底力を知る～

令和4年1月29日(土)に予定していました近畿建築祭兵庫大会は新型コロナまん延防止のため中止となりましたが、近畿建築士会協議会青年部会主催の近畿あ一きてくと Vol.29～地域で活躍する建築士の底力を知る～は、オンライントークイベントとして開催されました。建築士だけでなく学生や一般の方も含め約70名が参加いただいたその内容をご報告します。

1.事業概要

このトークイベントは近畿二府四県より、ニッチな地域で活躍する建築士会会員をゲストに招き、これまで自分たちがあまり知ることの無かった情報や知識を参加者で共有し、スキルの向上と見識を深める事を目的とし企画されました。

事業の内容は、まずトークリレーとして各府県代表の6名のゲストが1名ずつ自己紹介・業務内容の説明を行い、その後にゲスト全員と司会者を交えたトークセッションを行いました。

当初は現地開催の予定でしたが、コロナ過の影響により急遽オンラインによる開催となりました。



(トークセッションの様子)

2.ゲスト紹介とセッション

①滋賀県代表の山甚建設株式会社 大依隼人氏より映画・ドラマのセット運営、他一般建築工事業務の活動について報告。



(トークリレーの様子)

②京都府代表の株式会社環境設備計画 松本匠氏より建築設備・都市環境設備の計画、設計並びに工事監理業務の内容を報告。

③大阪府代表の株式会社荻田建築事務所 竹田雅彦氏より

建築設計施工、不動産コンサルティング、損保代理店業務の活動を報告。

④兵庫県代表のNP0 法人兵庫空き家相談センター 橋詰慎氏より空き家に関する相談業務、空き家対策等のセミナー活動を報告。



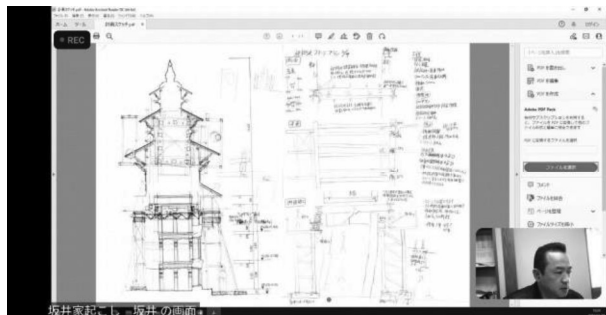
(トークリレーの様子)

⑤奈良県代表の株式会社大和工藝 谷幸治氏より建築模型・ジオラマ・ディスプレイの制作等の活動を報告。



(トークリレーの様子)

⑥和歌山県代表の株式会社坂井家起こし 坂井志行氏より住宅構造物の移動押上げ、地盤沈下構造物の修正、寺院古民家基礎替え業務の活動を報告。



(トークリレーの様子)

3.おわりに

今回、様々なゲストの方に来ていただきトーク内容も幅広い話題で、私たちの身近な場所に、魅力的で興味深い取り組みをされている方がおられることに気づけ、今後の活動への参考になったと感じました。

【記:青年委員会 永友翔】

木造公共建築物等推進タスクフォース会議 活動報告

■奈良県建築士会の木造公共建築物等推進タスクフォース会議（座長 中本明氏、以下タスクフォース）は、奈良県における公共建築物木造化の推進を支援していくことを目的として活動しています。

樹木は光合成により空気中の二酸化炭素(CO₂)を固定化することができるため、脱炭素社会に向けて、木造建築による効果が期待されています。また、木は人に優しい豊かな空間を提供することができ、地域経済への貢献も見込めるため、近年は住宅のみならず中大規模木造建築への取り組みが各地で広まっています。

しかしながら、公共建築物等の中大規模木造建築となるとあまり経験がない発注者、設計者や施工者が多く、実際の案件となると二の足を踏んで、実績のある鉄骨造や RC 造を選択してしまうケースも多く見られます。そこで、木造建築に造詣の深い、意匠設計、構造設計、施工、木材関係者が集まり、木造公共建築物等を推進していくための活動を始めました。



森林資源の循環利用（出典：森林・林業白書）

■令和2年度には、奈良県水循環・森林・景観環境部 奈良の木ブランド課より委託された事業として、公営住宅をテーマに取り上げ、木造建築とした場合の検討をしました。具体的に木造公営住宅を設計し、RC造と木造のコスト比較まで行いました（士會奈良 2021 年3月号の記事参照）。ここで設計した木造公営住宅はまだ実現していませんが、公営住宅計画の一部に木造建築を取り入れる動きにつながりました。

■続いて奈良の木ブランド課からの依頼を受け、令和3年度は行政の発注者向け手引書「奈良県産木材による中大規模公共建築物計画のための手引き」を作成しています。コロナ下にもかかわらず会議を重ね、発注者の方々に理解いただきたい木造・木質化の意義や利点、木造化に際して考慮しておくべき点などをまとめました。

また、タスクフォースから派生した事業として、公共建築物に関する設計発注支援業務を受託し、企画段階から木造化も視野に入れた設計支援を行っています。対象となる建築物を木造と鉄骨造の両方で設計し、両者の優位点・コストの比較等を行っています。

■循環型社会の実現に向けて、建築士に期待されている役割と責任は大きく、タスクフォースを通じて知見や経験を持ち寄り、広く木造建築の推進普及に尽力したいと考えています。

タスクフォースは令和4年度も引き続き活動する予定です。関連事業には皆様のご参加もよろしくお願いいたします。 【記：会議メンバー 伊藤吉郎】

広 告



これからも一流の構造設計集団を目指します

のび
株式会社 伸構造事務所

一般構造／耐震診断・耐震補強設計
PC 設計・PCa 設計

代表取締役会長 中本 明

取締役社長 中本 篤

奈良県香芝市瓦口 2166 番地

TEL:0745-71-2200 / FAX:0745-71-2311

<https://www.nobiso.jp>

お知らせ

●合格おめでとうございます(奈良県)

令和3年一級建築士試験 合格者数 44 名
二級建築士試験 合格者数 66 名
木造建築士試験 合格者数 9 名

●令和4年度通常総会の日程(予定)

日時: 令和4年5月19日(木)
場所: ホテルリガーレ春日野

●入会

永井 登(奈良支部) / 黒田 恵美子(奈良支部)
高山 恵梨子(生駒支部) / 野口 由香(高田支部)

●令和3年度受賞者のご紹介

○国土交通大臣表彰 副会長 西峯 隆司 様

○日本建築士会連合会表彰

・会長表彰 徳本 雅代 様(郡山支部)
嵯峨 雅由 様(橿原支部)
・伝統的技能者表彰 森井 善弘 様(高田支部)

○日本建築士会連合会第11回まちづくり賞

郡山支部「大和郡山・城下町の歴史的建造物を活かしたまちづくり」でまちづくり奨励賞を受賞

○日本建築士会連合会青年委員会主催の地域実践活動報告セッション

青年委員会「ツリーハウスプロジェクト」で奨励賞を受賞

●「建築甲子園」で吉野高等学校が奨励賞受賞

(公社)日本建築士会連合会主催の2021年第12回高校生の「建築甲子園」が「地域の暮らし・これからの地区センター」をテーマに開催されました。

本県では、県内選考を経て本選に送付された奈良県立吉野高等学校建築工学科の作品が審査の結果、奨励賞を受賞されました。



編集後記

2021年度も、昨年に続き「コロナ禍」の年度末を迎えることになりそうです。建築士会全国大会「広島大会」はオンライン開催となり、新年大交歓会、近畿建築祭「兵庫大会」は中止となってしまい、リアルの場でお互いが顔を合わせて話をする機会がすっかり減ってしまいました。そんなコロナ禍であるからこそ、会員間の情報交換の一助となり、コミュニケーションを活発化していくための重要な役割をこの「情報・広報委員会」は担っていることを、平時以上に感じる機会にもなりました。

情報・広報委員会に私が出席するようになったのは、2012年度から。ちょうど10年が経ちました。その当時は12ページが標準の月刊誌で、毎月紙面に穴を空けないようにネタを探し原稿を依頼するのに天手古舞でした。この10年間は団塊世代が高齢期に入っていく時代にも重なり会員数が減少し、士会のお財布状況も厳しくなりました。2014年1月号からは隔月発行(奇数月)となり、さらに、目次を表紙にもってくる等の紙面の効率利用を図り、8ページ標準へのスリム化を経て、ついに、2020年5月号からは外注をやめることになりました。現在の、「委員自前編集・事務局印刷方式」のスタートです。これにより、必要経費は紙代とプリンター代だけとなり、大幅な経費削減となりました。イコール委員および事務局の負荷増大です。しかし、この状況に対応すべく委員長を中心に、より丁寧な委員会運営を進めてきた結果、委員会への出席者も増え、3班体制での編集作業も機能し、建築士会館もしくはZoom会議での活発な議論もなされています。経費削減と活動の効率化・活発化の良例ではないでしょうか。

そんな本委員会に私も長居しすぎた感があり、この度、郡山支部で情報技術に私よりはるかに詳しい松尾さんにバトンを渡すことになりました。今後も会員読者として、本誌を応援したいと思います。お世話になった皆さまにこの場をお借りし感謝いたします!

【記: 郡山支部 折目 貴司】

3月 16日(水) 監理技術者講習

4月 20日(水) 監理技術者講習

士会奈良 通巻642号

令和4年3月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話: 0742-30-3111 FAX: 0742-33-4333
<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 米村 博昭

編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会



情報・広報委員会

委員長	福田 成生	
副委員長	松田 七彦	宮浦 重彦
委員	中元 綱一	伊藤 吉郎
	門脇 直也	折目 貴司
	松尾 憲治	大倉 克之
	小西 直樹	山崎 修裕
	小松原寛俊	洞 尚樹
	押部 誠	松尾 健吾

奈良県のストレート合格者のおよそ9割は総合資格学院の当年度受講生!



※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※都道府県合格者数・ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和元年度1級建築士学科試験に合格し、令和元年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。(令和2年2月12日現在)

開講迫る!! 令和3年度 1級・2級建築士 学科対策講座 受講生募集中!! お申込みはお早め!	1級・2級 建築士 構造/設備設計 1級建築士 1級・2級 建築士 土木施工管理技士 1級・2級 建築士 建築設備士 1級・2級 建築士 管工事施工管理技士 1級 建築士 宅地建物取引士 1級 建築士 造園施工管理技士 インテリアコーディネーター 賃貸不動産経営管理士	総合資格 検索 奈良校 TEL.0742-30-1511 奈良県奈良市西大寺町3-27 泉谷ビル 4F 近鉄大和西大寺駅北口から徒歩5分
---	--	--